

6 千葉県／中村 康絵(36歳)

お父さん、お母さんへ

いつも温かく見守ってくれてありがとう。

私が精神病になって、障がい者となってから
私自身も戸惑い受け止めきれず、感情をうまく表現して
伝えることが出来なくて、家を飛び出しても、
訳を問詰めることをせずに

自分で帰れなくなった時に迎えに来てくれてありがとう。

あの時、ただただ“迎える、”だけにしてくれて嬉しかったです。

段々と自分から、気持ちを伝えられるようになっても、
まだ“失声、”という症状が出てしまい、
その度に心配していて声が出なくなるまで待っていて。

本当は色々、私に聴きたい事や、やって欲しい事はあるとは思
うけど、あえて言わずに私が自分から言う事や、
するようになるのを待っていて助かっています。

お父さんも、お母さんも、段々と年を重ねて今まで出来て
いたことが出来ないことも出てきて、私が年を重ねた分だけ、
一緒に年を重ねたのだと感じています。

二人が安心して私がこの先、ひとりでも誰かしらの協力を
得ながらも暮らせていけるように、これからも温かく見守って
いてください。

時には厳しいけれど、これからの人生を二人が教えてくれた事を
胸にして生きていきます。

頑張りすぎたりしない様に、自分が出来ることを続けていきます。

中村 康絵